

## 若年船員確保対策事業の出前講座実施！

鹿児島内航海運組合は令和4年度船員確保対策事業として、2月21日(火)に枕崎市にある鹿児島県立鹿児島水産高等学校で、1年生37名(海洋科)及び海洋技術コース2年生(船長講座のみ)10名に対し出前講座を実施しました。

当日は、コロナウィルス感染症対策をしっかりと取り、九州運輸局鹿児島運輸支局と1万トン級のRORO型貨物船で関東・関西・九州各地からの貨物を沖縄まで、また、フェリーで鹿児島から奄美各島を経由し沖縄まで、人と生活物資輸送に携わっているマルエーフェリー(株)と連携し実施しました。

### 【出前講座の目的】

日本は、海洋国家であり、更なる発展を遂げるため「海からの恩恵」について認知されることが必要。

また、日本の経済と国民生活を支える海事産業は、少子高齢化社会の到来の中、船員など「海事産業で働く人材」の確保・育成が極めて重要な課題。

このため国土交通省では、海洋国家日本を支える海事産業の将来を担う青少年を中心に、海の魅力を広く国民に知ってもらい、海や海事産業に興味・関心を持ってもらい(海事思想の普及・啓発)、また職業として海事産業に魅力を感じてもらいながら将来の職業(船員)の選択肢として捉えてもらうという観点から実施。

**【進行】**九州運輸局鹿児島運輸支局 首席運輸企画専門官(運航担当) 高田 俊宏

**【講師】**九州運輸局鹿児島運輸支局 首席運輸企画専門官(船員担当) 中尾 徹  
マルエーフェリー株式会社 船長 田畑 友春

### 【実施内容】

- ① 運輸支局運航担当の高田首席による、出前講座の主旨説明及び講師紹介。
- ② 運輸支局船員担当の中尾首席が、「船員の仕事について～基礎知識と現状～」と題し、外航海運と内航海運の違いや、内航海運が地球環境に優しいことや、船員の職種や給料及び勤務スケジュール・休暇等について「What is 内航海運？」を使いながら、また、船員として内航船に乗船している子息の体験等を含め、説明された。
- ③ 鹿児島水産高校OBでもある、マルエーフェリー(株)田畑船長が、同社の会社概要として、主要航路や就航船舶(6隻、船員137名)を紹介しながら、船員の役割と分担等を、また、映像を観ながら入出航時における航海士や甲板員の作業や荷役の様子等を説明された。

最後に、ご自身の経験として、学生時代に英語の勉強をしっかりとしておく

ことが将来役立と言われていた。



中尾首席 講演の様子



田畑船長 講演の様子

説明終了後、質問の時間では、仕事をするうえで大事なことはどの質問があり、田畑船長が以下のように回答された。

- 自分の持ち場は責任を持ってする
- チームワークが不可欠である
- 報告、連絡、相談は大事である

### 【配布資料】

- ・内航海運の活動（令和4年度版）
- ・内航海運～地球にやさしく日本を運ぶ
- ・What is 内航海運？
- ・船の仕事ってなに？（マンガ）
- ・応援ノート
- ・クリアファイル





鹿児島内航海運組合は、内航海運の課題である若年船員確保に向けて、今後も、鹿児島運輸支局及び組合員事業者と連携しながら、このような取り組みを継続していきたいと考えています。

また、当日は、南日本新聞社の取材があり、2023年2月28日付にて同紙に掲載されました。

新聞掲載等も含め、本活動内容を広く周知して頂き、若年船員確保の効果を上げたいと考えます。

以上